

インフォシスとファブリック・ワールド、グラクソ・スミスクラインのデジタル対応戦略の提携先には選ばれる

統合プラットフォームおよびサービスソリューションでグローバルデジタルチャネルを合理化

バンガロール（インド）、ロンドン、ニューヨーク、2012年3月13日:

インフォシス（ナスダック：INFY）は13日、グラクソ・スミスクライン（GSK）と提携関係を結び、同社のコンシューマー向けヘルスケアおよび製薬事業部におけるデジタルチャネルのグローバル最適化を実施することを発表しました。広告・マーケティングのWPP傘下企業であるファブリック・ワールドワイドと共同でGSKの消費者や医療関係者にデジタル経由でアクセスする方法をよりシンプルかつ効率的に改善していきます。

GSKはインフォシスとの提携関係により、グローバル・デジタル・サービス（GDS）を創出します。これは新しい共有サービスであり、マルチメディア・デジタルチャネルで情報を作成・配信する場合の処理を標準化し、ベストプラクティスの共有を進めます。

今回のサービスでは、ファブリック・ワールドワイドとの提携で構築されたデジタル・マーケティング・プラットフォームを活用します。これは最高のテクノロジーとマーケティング専門知識を統合プラットフォーム上で取りまとめ、クラウドで配信します。デジタル・マーケティング・プラットフォーム独自のBLUE（Build、Listen、Understand、Engageの略）フレームワークによって、GSKはデジタル資産を素早く構築し、一連のデジタルチャネルを通じて消費者の声を聞くことができます。GSKは同プラットフォームの最新の分析能力を使って、消費者の意見をより良く理解し、その真意をくみとることで、魅力あるブランド・エクスペリエンスを提供することができます。プラットフォームは優れたワークフロー能力を通じてチームのコラボレーションを可能にして、デジタル資産の再利用を促進します。インフォシスはファブリック・ワールドと提携し、ブランドと代理店の連絡に利用できる特別のデジタル・マーケティング・サービスを提供するとともに、GSKがデジタルメディアの効果を高めることができる最新の分析法を提供します。

GSKコアビジネス・サービスのフィル・ベントン副社長（グローバル・デジタル・サービス担当）は、「当社では、お客様や消費者、その他外部のステークホルダーは、今まで以上にオンラインを使ってコンタクトを取りたいと思っていることを理解しています。グローバル・デジタル・サービス（GDS）を利用すれば、世界的に標準化されたプロセス、スケラブルな資産、最新の分析によって、これら外部ステークホルダーと効率的な連絡がとれるようになります。インフォシスとファブリックは、当社がこの分野で一歩前進するための重要な機能を提供してくれます。」と語っています。

インフォシスのデーシット・V・G副社長兼ライフサイエンス・グローバルヘッドは、「製薬会社にとって、組織全体で世界的にデジタル変革を進めることは、迅速な成長と顧客関係を強固にするために非常に重要なことです。製薬会社は今後、営業チーム、顧客、医師、業界の主要オピニオンリーダーと連絡する際に、デジタルメディアを大いに活用することになるでしょう。インフォシスは、ライフサイエンス業界に関する詳細な

知識、産業間共通の経験、最先端技術知識を持ち、WPPと提携してGSKの世界的なデジタル情報活動の基盤を構築します」と語っています。

インフォシスのサムソン・ダビド副社長兼ビジネスプラットフォーム・グローバルヘッドは、「今日の企業はステークホルダーとのかかわりを余り重視せずに、デジタル処理の合理化に大幅な時間を費やしています。当社とWPPとの提携によって、最高のマーケティングとテクノロジーが融合し、次世代型のデジタル・マーケティング・プラットフォームが構築されます。このプラットフォームはクラウド上で提供され、GSKはデジタル資産を効率的に作成し、デジタル利用者と効果的にかかわり合うことができます」と語っています。

ファブリック・ワールドワイドのニール・ミラー共同CEOは、「GSKがファブリック・データ・マネジメント・プラットフォームと、インフォシスのソリューションの主要部分であるマーケティング・オペレーティング・システムを利用していることを喜ばしく思っています。これにより、GSKは、デジタルチャネルによって市場やブランドから得られる消費者のシグナルを絶えず理解し、迅速に対応することができるのです。」と語りました。

グラクソ・スミスクラインについて

グラクソ・スミスクラインは、研究に基盤を置き世界をリードする、医薬品およびヘルスケア企業であり、人々が心身ともに健康でより充実して長生きできるよう、生活の質の向上に全力を尽くすことを企業使命としています。詳細については企業HP www.gsk.com をご覧ください。

ファブリック・ワールドワイドについて

ファブリック・ワールドワイドは専門技術企業であり、WPPクライアントサイド・プラットフォーム・プロバイダーでもあります。ファブリック・ワールドワイドの技術はファブリック・クライアントサイドDMPとマーケティング・オペレーティング・システムを基盤としており、マーケティングデータとマーケティング策はこのデータを利用して、すべてのチャンネルと顧客組織の異なる部署に関連するプログラムを絶え間なく配信することができます。同社が目指すのは、顧客がデジタルチャンネルから消費者のシグナルを迅速かつ合理的に利用できるようにすることです。

インフォシスについて

インフォシスの14万5000人の社員は測定可能なビジネス・バリューを提供することで、世界で活躍する多くの企業から信頼を得ています。インフォシスはビジネス・コンサルティングからテクノロジー、エンジニアリング、アウトソーシングまで幅広いサービスを提供して世界30カ国以上のお客様に未来企業を目指すお手伝いをしています。インフォシスに関する詳細は下記のWebサイトをご覧ください。www.infosys.com

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、当社の将来的な成長を予測するものであり、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、収益の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のあるITサービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能を

もつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2010 年会計年度（2011 年3 月31 日付）年次報告書（Form 20-F）や、2011年第1四半期（2011年4月－6月期）、2011 年第2 四半期（2011 年7 月－9 月期）および2011年第3四半期（2011年10月－12月期）の各四半期報告書（Form 6-K）を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、当社により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先：

アジア太平洋地域 Joya Ahluwalia インフォシス・リミテッド、インド +9180 41565002 Joya_Ahluwalia@infosys.com	EMEA Gary Follos インフォシス・リミテッド、UK +44 0207 516 2724 gary_follos@infosys.com	アメリカ Ted Bockius インフォシス・リミテッド、USA + 1 (510) 759 9432 Ted_Bockius@infosys.com
ファブリック・ワールドワイドの問い合わせ先 Chris Perry ファブリック・ワールドワイド Chris.perry@fabricww.com	インフォシス日本支店連絡先 マーケティングマネージャー 安藤 義 jo_ando@infosys.com	